

うぶぎぬじんじやおりどの  
市指定有形民俗文化財「初生衣神社織殿」銅板盗難被害について

このたび、市指定有形民俗文化財「初生衣神社織殿」に付随する「<sup>しんこ</sup>神庫」の屋根銅板が盗難被害にあったことがわかりました。

市では注意を呼びかけています。

※初生衣神社は、機織の祖神である天棚機姫命（あめのたなばたひめのみこと）を祀る神社で、古くは境内に毎年「織殿」を新造し、ここで絹を織り伊勢神宮に納めてきたという。現在は、織殿の毎年の新造は無くなり、享和元年（1801）建造の建物が残され、毎年4月に例祭「おんど祭り」が開催されている。

- 1 被害内容 盗難  
被害箇所 市指定有形民俗文化財「初生衣神社織殿」 附 <sup>つけたり</sup>神庫  
所 在 浜松市浜名区三ヶ日町岡本 696



被害前 2024年11月19日現在



被害後 2026年5月19日現在

2 経過

5月19日（火）

午前 朝のお参りの散歩の方が発見、所有者に一報が入る。  
所有者が現地へ到着。  
三ヶ日交番へ報告。  
警察現場確認。

9時30分頃 文化財課に被害の連絡が入る。

午後 文化財課担当が現場確認

3 対応

- ・静岡県文化財課、区・行政C・支所の文化財担当者に情報共有しました。
- ・他の文化財所有者への注意喚起を行います。
- ・文化財の保護・修繕について文化財所有者と調整をします。